テルネットと世界災害語り継ぎ

世界災害語り継ぎネットワーク(テルネット)
International Network of Telling Live Lessons
from Disasters (TeLL-Net)

事務局次長 深澤良信

「災害を語り継ぐ」ということ





写真をとった人のつらさ、 悲しみの共有 水を届けてくれた人へ の感謝の気持ちの共有

「本当にあったこと」は人々のこころを強く揺さぶる

「災害を語り継ぐ」ということ(の一側面)

- 災害にかかわった人々のこころの声、気持ちを効果的に伝える(感情の大切さ、理屈とは別のもの!)
 - 悔しさ、怒り、悲しみ、怖さ、人間の優しさにふれてほっと一息ついた 気持ち***
- 大きな犠牲を払って学んだ大切な教訓がより強く伝わってくる⇒防災の取り組み、より良い暮らし・社会
 - 命の大切さ、日々のくらしの大切さ、人間の小ささや大きさ、自然の 怖さや優しさ・・・
- 国内外でいろいろな語り継ぎが行われている
 - 語り部、ミュージアムでの展示、音楽、モニュメント、映像・・・

国内外各地の語り継ぎのネットワーク

- 世界災害語り継ぎフォーラムの開催
 - 2010年3月、神戸
 - 世界各地22か所の被災地から40を超える災害 体験の語り継ぎ事例の報告
- 世界災害語り継ぎポータルサイトの開設
 - 報告資料(パワーポイント)の閲覧
 - 語り継ぎを実践している人たちのプロフィール、 連絡先、関連するウェブサイトへのリンク・・・
 - ●「世界災害語り継ぎフォーラム」で検索

雲仙普賢岳火山噴火 平成新山

1990~1995噴火火山活動 ⇒平成新山

1991年6月3日大火砕流 ⇒43名死亡



Geo-park をめざす平成新山フィールドミュージアム





土石流被災家屋保存公園と大野木場砂防みらい館



中心施設の雲仙岳災害記念館(がまだすドーム)

- 「がまだすドーム」
 周辺被災現場の保存
 記念施設・学習施設群
 - ※「がまだすドーム」が地域のハブとなって周辺情報 も一元的に提供

- ・公募による館長の意欲的な運営
 - ボランティアの参画
 - ●地元向けイベントの積極的な開催
 - 記念財団による交通費の助成⇒来館者減抑制

群馬県嬬恋村鎌原地区を中心とした語り継ぎ

- 浅間山(2568m)、1783年の大噴火
- 土石流が鎌原村直撃、477名死亡、観音堂に逃げた 93名のみが助かった
- 大土石流が利根川を流下、川沿いで1400名が犠牲
- 1979年発掘調査→石段•人骨発見
- 地域の小学校の先生(関先生)の

ライフワーク









「天明三年を歩

−天明3年8月5日・土石なだれと泥流の爪痕─

(8) 鮮馬県極麗文化財牌査事業四 「西路は今』 5号 1907、 関 2006 を加熱概象。 帝町村名は、平成の大会様以前。



マジカルホール」、地球の敵動が聞こえる「ロストワールド」 など、設置も盛りだくさんです。

●提算観音堂・増充村提原

天明3年8月5日に淮南山火口から流出した火砕流と発生 した土石なだれが御原村を襲いました。一瞬にして理地の村 穿が押し潰され、477人の命が奪い去られました。生き残っ た93人は近くの村々の暖かい援助と面積力で埋めつくされた 村を再建してきたのです。田和54年に始まった発掘調査の機 子は広く報道され、人々の心を大きく繰り動かしました。鬱 育業には477人の資本を刻む三十三回馬体業業や二百回馬体 養観音像があります。周辺には、流された延命寺の保石やモ の一部で村の進しるべとなった標石、郷倉(凶作に飽える共 間の観念(などがあります。

◎ 嬬恋郷土資料館・嬬恋村雛原

天明の強靭山大幅火によって爆没した難原材の衰虧の歴史 を、発掘された出土品の展示や映像を通して理解することが で書ます。発掘された延命寺路や旧郷原村の集存の出土品が、 当時の様子を語りかけて含ます。維原観音堂近く、浅間・白 根火山ルート沿いにあります。

〇分共夫・長野原介広奏

1528年に創建されたといいます。天明3年の横火に伴う 土石なだれによって講堂字を流失。文政年間に現在の地に再 建されました。被災時に減失した常難は、開治43年に長野原 町川原畑で発見され、128年ぶりに寺に戻りました。現在は、 浅間火山博物館に展示されています。

いません。それにもかかわらず、これほど後世まで供養し、 その碑を建てた例は他にはみられません。

4日寺門前供養塔・中之条町伊勢町

環災百年供養記念碑と同二百年記念碑が、参道に向かい 合って建てられています。いずれも立派な様で、「天明の災害 を充れることなく歴史の教訓を肝に終じ離土の物発を贈う。

◎木の間の供養塔・小野上村小野子

国差353号沿いの小野子パス停北、飯塚大学の石堂という 実内の立つ墓地内にあります。高さ104ms、安山岩の自然石 に「流死萬靈等」と刻まれており、現在の吾妻川の流れを順下 に一望することができる高台に建てられています。この辺り から、吾妻川は阿岸が開かれた地形となっています。

①会島の連問石・波川市川島

異確定天然配念物。天明流流により吾妻川を伝い、この始 まで運ばれて含ました。高さ4m、東西15m、南北10mの巨岩 です。このように流れによって連ばれた岩を流水岩ともいい ます。同様なものが、中之条町青山、東村新巻、流川市中村 などにもみられます。

①渡死者供養石仏・茨川市川島

飯塚氏共同重覆の襲地にあります。泥波により運ばれた浅 関石の上に多数の石仏が祀られています。十王・地蔵・奪衣 婆などで、天明3年の深遠により流死した川崎村113名の供 養のために洗川・金井・南牧・福母島の奇特者が造立したと

興福寺入口職貿感恩の碑・子持村北牧

天明3年の漁動災害の後、46年目の文政12年(1829)の建 立です。実施の被害状況と幕府勘定時味浴機構力部方衛門 の巡察状況を記し、当を得た救済処備で被炎から復興した 思慮が忘れられないよう。何村の福場寺の金峰和尚の委集 で北安村の古老たちが確てた時と記されており、江戸時代 の反政を知る上でも貴重な資料といわれています。

⑩人助けの標の木と供養碑・子持村北牧

北牧村では泥流によって53名の売者が出たと記録され その際この類の大に登って動士人が観を逃れたと伝えられて います。樹齢は400年を越え、当時の樹勢は見られませんが、 天明3年の炎害を伝える生者歴人として国道353号沿いにた たずんでいます。始までは、寒と葉の臭いから「へだまの木」 とユーモラスな呼ばれ方もします。

●接來書幕・後川市会井

高さ45cm、幅35cm。浅間石の自然石に「流死墓」と刻まれ ています。渋川北中学校の東、「金井住民センター入口」の 看板を北に入った住宅の入口にあり、被災にあった無縁仏

真光寺入口供養塔・渋川市並木町

蒋身は自然石の台石の上に建てられています。高さ能丈 130an、地元の人々によって建立されたもので、梵字に義 けて「流死萬爾萬」と刻まれています。

⑩元景寺境内供養塔・前橋市錦祉町

抱社村の人々は上流から押し流された被災者を引き上げ勝 山地内に合義し、翌年間を吊うためにこの供養者を建てまし た。後年、利根川の決議による流失の危険から、この供養者 は元景寺境内の現在地に移されました。後の裏に当時の参状 と建立の理由が刻まれています。

水麻网市

①天明地蔵碑・伊勢崎市戸谷原

被災による声谷無村の死者は記録の上では確認されていま せんが、付近の利権川岸に当時は700人あまりの責件が流れ 着いたといいます。聖天明 4年、戸谷塚の人々の手で建てら れた体養地童碑です。昭和37年に構究村と長野原町の手で 建立された供養時も並んでおり、今でも毎年、天明三年被炎 者供養の念仏和讃を願え、普提を吊っています。

〇八斗島の供養碑・伊勢崎市八斗島

利根川沿いの八斗島の共同墓地の入口にあり、頂部が四角 舗、高さ75mの四角枠の体質接です。左右の側面にそれぞれ。 2字の戒名で、男性31人、女性B人の戒名が刻まれています。 流れ着いた遺体を合葬し、村人が一様に戒名を付したものと いわれます。職人愛に飾つまるものがあります。

②旧中島村都緬堂境内供養塔・境町中島

影響によれば、家家災害時に中島村の人々は、流れ難い 2男女36人の遺体を拾い上げ、この墓地に葬ったといい ます。村中で建立したというこの供養者には「流死無機位」 と刻まれ、境南中学校の100m程西よりの業師堂内に建て られています。

◎円福寺門前供養塔・千代田町舞木

利根川左岸堤筋沿いの円福寺の入口にあります。この付 近では、泥流により500間の堤筋が破れ、田地が5尺も高 なったという影響が残っています。実施の単微は、この 地区の後の大洪水による破堤の発生に大きく影響を与えま した。付近の畑の棚にはこの気流によって運ばれた漁駅石 が今も点在しています。泥流に被災した人々に対する利相 川流域の本県分最下流の供養塔とされています。浅間山火 口からの流下距離は約130km。

■さらに、実施は千葉県関府で、銀子へ向から一方、江戸 川(旧判根川)に入り東京満へも流れ込みました。その祭 に運ばれた選件が手厚く葬られたことが伝えられ、江戸川 区東小岩・鎌黄寺、写廊区美又・羅経寺、江戸川区東小松 川・鶴崩寺などに当時の被炎と隣人愛を今に伝える供養者

が確されています。



有珠山噴火の語り継ぎ

- 三松正夫氏(地元の郵便局長、1888 1977)
 - 生涯で1910, 1944, 1977の噴火に立ち会い
- 有珠山と周辺を 丸ごと買い取り、 天然記念物とし て保存
- 娘婿の三松三朗 氏が語り継ぎを 継続(人と火山の共生)
- ユネスコ認定 ジオ・パーク



台湾921地震教育園区

921 Earthquake Museum of Taiwan

1999年9月21日に台湾中部で起こった M7.6の集集大地震による巨大断層と倒 壊した中学校を現地で保存し、その被災 と復興の状況を国立自然科学博物館の 教育分園として整備している。





地震の揺れの体験室、地震映像館



地震による断層の現状保存



倒壊した校舎の現状保存

ハワイ大平洋津波博物館



解説ボランティアの大学生

語り継ぎのビデオ・ライブラリー

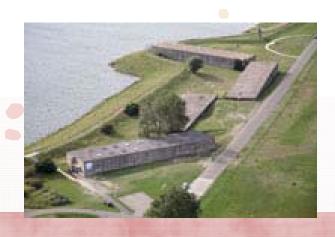
- 1946年津波で159名死亡、1960年津波で61名死亡
- 1993年に一般市民有志が記録の保存に着手、1997 年に第一ハワイ銀行から「カメハメハ支店」社屋寄贈
- 生存者へのビデオ・インタビュー、写真・新聞記事・遺 留品等の収集、子どもたちを巻き込んだ周年事業等
- 館長以下ほとんどの スタッフがボランティア (地域のもの、存在感)
- 充実したウェブサイト



「これまで皆と一緒にやってきたことが正しかった事が確認できた」

オランダ1953年水害博物館

- 1953年2月、強力な低気圧と高潮で海岸堤防 決壊、1835人が犠牲(「デルタ計画」の契機)
- 同年11月、巨大ケーソン4基で決壊個所を閉鎖
- 40周年を契機にボランティア主導で記念施設開設に着手⇒2008年から政府も支援、施設拡充
- 主要テーマ: 水とともに生きる







四川大地震被災地の保存

















その他

- 稲村の火の館(1954) ■
- 奥尻津波館(1994)
- ニューオーリンズ洪水(2005)
 - インド洋大津波(インドネシア他)(2004)
 - アルメニア大地震(1988)
 - バングラデシュサイクロン(1970、1991他)
 - アルジェリア地震(2003)
 - ▶ルコ・マルマラ地震(1999) その他多数
 - ⇒ 世界災害語り継ぎポータルサイトに収録

今後のテルネットへの期待

- 力を合わせて、災害を語り継ぐこと の大切さを共に強く訴える
- より効果的な語り継ぎに向けた情報 交換(特にミュージアムの役割)
 - 国内外各地での語り継ぎの支援(ひいては復興の支援)
- 第3回国連世界防災会議(2015年)への参加、貢献